

畜産・酪農生産力強化対策事業

【平成30年度第2次補正予算額 950百万円】

<対策のポイント>

畜産・酪農の生産力強化を図るため、**性判別精液を活用した優良な乳用後継牛の確保**や**和牛受精卵を活用した肉用子牛の生産拡大**、畜産経営における**新技術を活用した繁殖性の向上、種豚の改良による生産性の向上**等の取組を支援します。

<政策目標> [平成25年度→平成37年度]

○生乳生産量：745万トン→750万トン ○牛肉生産量：51万トン→52万トン ○豚肉生産量：131万トン→131万トン

<事業の内容>

1. 酪農経営改善対策

酪農における優良な乳用後継牛の確保や和子牛の生産拡大等を進めるため、畜産クラスター計画に基づく酪農経営等における経営改善に向けた取組を支援します。

- 性判別精液を活用した優良後継雌牛の確保、和牛受精卵を活用した和子牛の生産拡大

補助率1/2以内。ただし、	
・乳用牛性判別精液	：1頭当たり上限 6,000円
・高受胎率乳用牛性判別精液	：1頭当たり上限 10,000円
・和牛受精卵	：1頭当たり上限 70,000円
・乳用牛性判別受精卵	：1頭当たり上限 100,000円

- 和牛受精卵の生産拠点の機器整備
- 性判別精液生産機器の導入 等

2. 繁殖性等向上対策

地域の畜産技術者等による先端技術の習得や地域における繁殖性等向上のための取組を支援します。

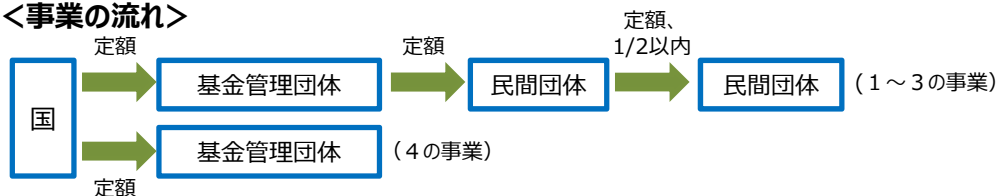
3. 養豚競争力強化対策

養豚業の基礎となる種豚の生産性向上等を図るため、飼料利用性や肉質を測定するための機器等の導入を支援します。

4. 家畜生産性向上対策

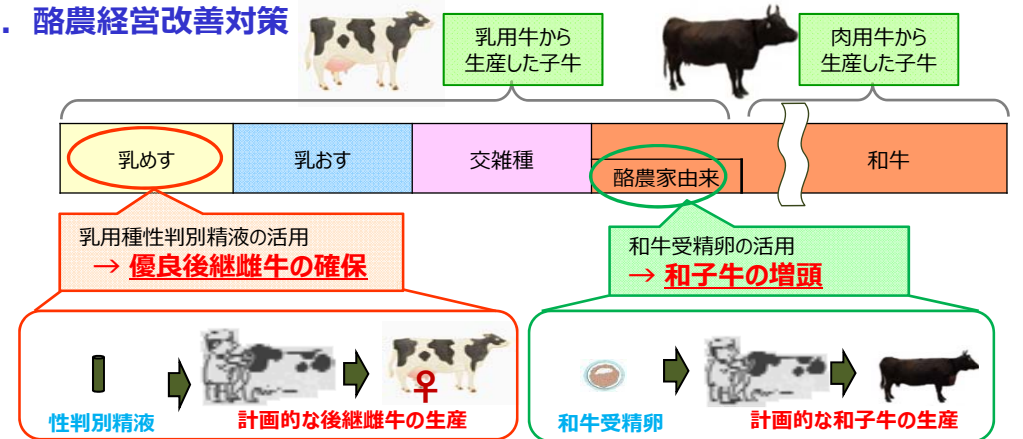
家畜改良増殖目標の達成等のため、家畜の遺伝的能力を最大限に発揮させるための技術指導等の取組を支援します。

<事業の流れ>



<事業のイメージ>

1. 酪農経営改善対策



2. 繁殖性等向上対策



3. 養豚競争力強化対策

飼料摂取量や超音波診断装置による肉質を測定するための機器等の導入を支援

4. 家畜生産性向上対策

生産性のデータ収集・分析に基づいた技術指導や現地講習会の開催等を支援

【お問い合わせ先】 生産局畜産振興課 (03-6744-2587)